

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 小向 太郎

研究課題		情報セキュリティに関する法制度の整備および運用状況の研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	平成30年度の個人研究費は、以下に述べるような研究計画を実行するために使用された。 本年度の研究計画は、情報セキュリティ関連制度について、①我が国における制度整備の状況、②諸外国における制度整備の状況、③セキュリティ関連制度の運用状況と課題を調査し、情報セキュリティ関連制度に関する体系的整理と整備に向けた課題の提示を行うとともに、教育活動にも反映させることを目的として行われた。情報通信 (ICT) 技術の情報利用の高度化に対応して、情報セキュリティを確保するための法制度の整備が喫緊の課題となっている。新しい技術によって、さまざまな情報が収集・蓄積・利用されるなかで、従来とは違ったセキュリティやプライバシーに関する懸念が大きくなっている。 平成30年度の研究では、上記のような情報セキュリティ制度の課題について、情報技術によって生じる新たな課題全般を対象として研究を行った。
	研究成果	「個人研究費」を用いた今年度の研究成果を以下、簡潔に述べる。今年度は、ネット規制のあり方や新技術によって生じる法的課題を中心に研究を行い、規制の合憲性、ネット時代における放送制度のあり方、ブロックチェーン技術の法的課題、海賊版サイト対策のあり方等について、個別テーマの検討を行い、論文の執筆や、学会等における報告を行っている。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	小向太郎・出会い系サイト規制法の合憲性・別冊ジュリストメディア判例百選・2018年12月 小向太郎・インターネットと放送制度・第27回JAMCOオンライン国際シンポジウムテレビの未来～日本とヨーロッパ・2019年3月
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	小向太郎・ブロックチェーンの法的課題・情報処理学会第81回EIP研究会企画セッション「ブロックチェーンの可能性・未来・課題」・2018年9月14日・岡山大学 小向太郎・海賊版サイト対策の動向・情報処理学会第81回全国大会EIPパネル「2018年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～」・2019年3月14日・福岡大学
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	小向太郎・講演：ネット利用に潜む危険～SNSで人生を棒に振らないために・2018年4月26日・日本大学医学部